
Rewriteの世界でヴァンガード

フグ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Rewriteの世界でヴァンガード

【著者名】

フグ

【あらすじ】

作者紹介です。

皆さん始めてまして今回出展しましたフグです見ての通り駄作ですが、こんな作品でも暇ならしゃあないから見てやろうべういで見ていただければ嬉しい限りです。

先に言っておきますこんななRewriteじゃ無いって感じは多々あるのでご注意を。
それでも良いといつ人は見てください。

ヴァンガード前編（前書き）

このグダグダ感たまんねー

ヴァンガード前編

吉野「もう我慢ならねー、天王寺俺とデュエルしろ。」

そう言つて来たのはクラスメートであり不良の吉野晴彦だ。

瑚太朗「悪いが吉野俺はデュエルはしないがファイトなら受けて立つぜ。」

そして、こんな風に返した軽い男天王寺瑚太朗こそおれである。

吉野「よし俺とヴァンガードファイトで勝負だ。」

互いにデッキをシャッフルして、カードを5枚ドローする。

吉野「俺はノーチェンジだ。」

瑚太朗「俺はカードを2枚戻しシャッフルして2枚ドロー」

お互い入れ替えが終わつたからファイト開始だ！！

吉、瑚「スタンダザヴァンガード。」

吉野「バトルライザー。」

瑚太朗「コンロー。」

ターン1吉野手札5↙バトルライザー瑚太朗手札5↙コンロー

吉野「先攻は貰うぜ、ドロー！シャウトに俺様ライド、バトルライ

ザーは左後方にコールこれでターンエンドだ。」

ターン2吉野手札5↙シャウト左後方ライザー瑚太朗手札5↙コンロー

瑚太朗「俺のターン、ドローゴジョーにライドコンロー→後方にコールさらにバーを左前方にコール

アタックフェイズバーで↙にアタックだ。」

吉野「ノーガードトリガー・チエツクラウンドガールパワー+5000はシャウトにヒールはしないな」

瑚太朗「コンローをブーストしたゴジョーでアタック。」

吉野「くそ、ノーガードだ！」

瑚太朗「トリガー・チエツクターだパワー+5000と +1をゴジヨーに」

吉野「トリガー チェック1枚目アシュラカイザー、2枚目スリーミニツツパワー+5000をシャウトに

そしてドローするぜ！！」

瑚太朗「ドロー トリガー かまあ仕方ないなターン終了だ。」

前半だけでダメージ3点付いたここからどうなるかは後編に続く
!!

ヴァンガード前編（後書き）

今回は時間が無かつたので前編と言つ形にしました。
部書き終わらしますのでよろしくお願いします。
基本的には全

ヴァンガード後編？（前書き）

サブタイトル通り、ヴァンガードの続きとは限りません。

ヴァンガード後編？

前編の続きだが、こんな展開になれば良かつた・・・
実質はこうだ

吉野「天王寺俺とデュエルしろ！！」

瑚太朗「悪いが吉野俺はカードゲームはしない。」

本当はバリバリしている人間なんだよなあ・・・

吉野「決闘と意味で使つた！」

本気の目だつた。

見た目通りの一匹狼だが、普段はクールだ。

瑚太朗「残念だよ吉野親友同士で、争うことになるなんてな」

吉野「てめえと親友になつたつもりはねえ、そいつを今日体で理解させてやる。」

瑚太朗「どうやら本気みたいだな、分かつた受けて立つ」

吉野「放課後、裏庭に来い、そこでジ・エンドくれてやる。」

瑚太朗「ああ、だがひとつだけ言っておく。」

吉野の波動に当たられた俺は二ヒルな気分になつて言ひ。

吉野「なんだ」

瑚太朗「俺はそう簡単に終わる男じゃない」

吉野「上等だ、そんなんてめえの呌え面見物だな。放課後だ忘れるんじゃねえぞ」

瑚太朗「ああ、理解つて^{わか}いる。」

その約束を忘れて俺はあつさり帰宅した。

ヴァンガード後編？（後書き）

ヴァンガード？なんてどこにも出てないじゃん。
まあ今日はいろんな感じで切り上げます。

小鳥現れる前編（前書き）

今回はちやんとガードをします。オリカが出ます。
小鳥のテックはグレートネイチャーです。
トリガーは全部4枚ずつです。

小鳥現れる前編

そして土曜日の夜に吉野との約束を思い出した。月曜日に謝れば良いだろ？と思つてその日は寝た。

そんな事をしていたから夜に召集が掛かつた。

しかし今までにも何度も召集は掛かつている。

理香子「小鳥さんが、森から帰らないので、連れ戻してください。

「 瑠太朗「わかりました。」

そう言われて、俺は森にやつて來た。

小鳥「ニニニ」

しばらく行くと小鳥は寝ていた。

瑠太朗（無防備だな）

小鳥を起こすために、体をゆすつてみるが、小鳥は起きる気配が全く無い。

瑠太朗（仕方が無い、奥の手を使うか）

俺はポケットから、小銭を取り出し、小鳥の掌に落としていった。すると、小鳥が嬉しそうな顔をしながら、その場で起き上がった。

小鳥はねぼけながら挨拶をしてきた。

小鳥「あつ瑠太朗君おはよう」

俺は苦笑をした。

小鳥「夜だよ！暗いよ…」

と小鳥は周りを見ながら言つてきた。

そして、自分の周りにあるカードを片付け出した。

瑠太朗「今日もヴァンガードのテックを考えていたのか？」

と俺が言つと、

小鳥「そうだよ」

小鳥「そうだ、一回だけ、ファイトしない？」

瑠太朗「別に良いが大丈夫なのか？」

小鳥「うん問題ないよ」

瑚太朗「よしわかつた。」

お互いに最初に5枚ドローする。

小鳥「私はカードを1枚戻すよ」

瑚太朗「俺は3枚戻す」

そしてお互いカードを入れ替える。

瑚小「スタンダップザヴァンガード」

小鳥「ハイドッグ」

瑚太朗「アンバードラゴン・ドーン」

ターン1小鳥手札5瑚太朗手札5

小鳥「私の先攻、シルバー・ウルフにライドハイドッグのスキルで左下にしてターン終了だよ。」

ターン2小鳥手札5瑚太朗手札5

瑚太朗「俺のターンデイライトにライド、ドーンの効果でダスクを山札から、手札に加える。デイライトでアタック」

小鳥「ノーガードだよ」

瑚太朗「トリガーチェック、ターニング+5000と1をデイライトに」

小鳥「ダメージチェック1枚目モンキールー2枚目ヒーリングロコン治トリガーだよダメージを1枚回復するね。」

瑚太朗「ターンエンド」

小鳥現れる前編（後書き）

見てもらひつて分かる通りキャラのデッキは原作っぽく作っています。

小鳥現れる後編（前書き）

小鳥の「トツキはさらに強くしていく予定です。」

小鳥現れる後編

ターン3小鳥手札5枚D1▽シルバー・ウルフ左後方ハイドッグ瑚太朗手札5枚▽デイライト

小鳥「私のターンドロー・パンダ（ジオグラフ・ジャイアント）にライド、ハイドッグのスキル発動このカードをソウルに入れて自分のグレートネイチャーパワー+3000する。パンダのパワーを+3000にするよ。そして手札のちびもすのスキルを発動。このカードは自分の▽にパワー13000以上のグレートネイチャーユニットがいる時スペリオルライドが出来るんだよ。」

ちびもすパワー11000

(▽/R) Rに自分のグレートネイチャーハンマー時パワー-2000。

(▽) このカードがグレートネイチャーハンマーにブーストされたバトルのときこのカードのパワー+3000する。

瑚太朗「常時パワー14000と考えたほうが良いって事だな」

小鳥「うんそうだよ！まだ行くよ、ガーディングピーグを左前方にCさらにシルバー・ウルフを左後方にCするよ。」

小鳥手札2枚D1▽ちびもす左前方ガーディングピーグ左後方シリバーウルフ

瑚太朗手札6枚▽デイライト

小鳥「バトルシルバー・ウルフのブーストでガーディアンピーグでデイライトにアタック。」

パワー16000

瑚太朗「ターでガード。」

小鳥「ちびもすでデイライトにアタック。」

パワー11000

瑚太朗「そこはノーガードだ」

小鳥「トリガー・チェック1枚目プレゼントコアラ引トリガーだよ、

パワー + 5000 はガードでイングピールにしてカードを一枚ドロイするよ、2枚目ハイジャンプタイガーワード + 5000 をガードでイングピールにしてスタンダードさせるよ。」

瑚太朗「ダメージチェックバーだ。」

小鳥「ガードでイングピールでアタック。」

パワー 18000

瑚太朗「ノーガードダメージチェックガトリングクローリトリガード、カードを一枚ドローする。」

小鳥「私のターンは終了だよ。」

ターン4

小鳥手札5枚 D1Vちびもす左前方ガードでイングピール左後方シリバーウルフ

瑚太朗手札7枚 D2Vデイライト

瑚太朗「俺のターンスタンダンドドローダスクにライドV後方にデイライトをCデイライトのスキル発動オーバーロードを捨ててクリップスをデッキからサーチする。左前方にネハーレンをC左後方にエルモをCさらにバーサークを右前方にCスキルでCB2でガーディングピールを退却させる。右後方にバーをC。」

小鳥手札5枚 D1Vちびもす左後方シリバーウルフ

瑚太朗手札2枚 D2VダスクV後方デイライト左前方ネハーレン左後方エルモ右前方バーサーク右後方バー

瑚太朗「デイライトでブーストしたダスクでちびもすにアタック。」

パワー 18000

小鳥「ノーガード。」

瑚太朗「トリガーチェックバリィ。」

小鳥「ダメージチェックパンダ。」

瑚太朗「エルモでブーストしたネハーレンでちびもすにアタック。」

パワー 16000

小鳥「ハイジャンプタイガーデガード。」

瑚太朗「バーでブーストしたバーサークでちびもすにアタック。」

パワー 17000

小鳥「ノーガードダメージチェックガードィアンコング完全ガードが落ちちゃったよ。」

瑚太朗「ターンエンド。」

ターン5

小鳥手札4枚D3▼ちびもす左後方シルバーウルフ

瑚太朗手札3枚D2▼ダスク▼後方ディライト左前方ネハーレン左後方エルモ右前方バーサーク右後方バー

小鳥「わたしのターンスタンダンドドローライドスキップ▼後方にソニックバードをC左前方にパンダをC右前方にモンキールーをC。」

ソニックバードパワー7000

(▼/R) CB1このカードのパワーを+1000する。

小鳥「バトルモンキールーでネハーレンにアタック。」

パワー 10000

瑚太朗「バーサークでインターフェット。」

小鳥「シルバーウルフでブーストしたパンダでネハーレンにアタック。」

パワー 18000

瑚太朗「ゲンジョウでガード。」

小鳥「ソニックバードでブーストしたちびもすでダスクにアタック。」

パワー 21000

瑚太朗「ノーガード。」

小鳥「トリガー チェック1枚目ガーディアンコング2枚目エレファントアンカー トリガー +1とパワー +5000をちびもすに。」

瑚太朗「ダメージチェック1枚目ゲンジョウ2枚目イクリプス。ここに来ての空ヒールは痛い」

小鳥「ターン終了だよ。」

ターン6

小鳥手札4枚D3VちびもすV後方ソニックバーD左前方パンダ
左後方シルバー・ウルフ右前方モンキール

瑚太朗手札2枚D4VダスクV後方デイライト左前方ネハーレン
左後方エルモ右後方バー

瑚太朗「俺のターンスタンンドロードローイクリップスにライド右前方にラーザームをCバトルバーでブーストしたラーザームでちびもすにアタック。」

パワー20000

小鳥「エレファンタングアンカーでガード。」

瑚太朗「デイライトでブーストしたイクリップスでちびもすにアタック。」

パワー17000

小鳥「そこはノーガードでいいよ。」

瑚太朗「トリガー・チェック1枚目ター+1をイクリップスにパワー+5000をネハーレンに2枚目ドラゴキッド+1をイクリップスにパワー+5000をネハーレンに。」

小鳥「このタイミングで……なの?ダメージチェック1枚目ヒーリングロコンこのタイミングで来たって意味無いよ!一応パワー+5000をちびもすに2枚目シルバー・ウルフ3枚目エレファンタングアンカー私の負けだよ。」

WINNER瑚太朗

瑚太朗「ファイトが終わつたからそろそろ帰るか?」

小鳥「……うんそうだね」

瑚太朗「よっぽど悔しかつたのだろうな」

そして22時に帰宅した。小鳥は理香子さんに何も怒られずにその日は終わつた。しかし俺たちが帰つた後森ではある組織とある組織が対立していた事に俺はまだ知らなかつた。

小鳥現れる後編（後書き）

今回はオリカが目立つたと思われます。
後はグレートネイチャーのアイコンが出たらそっしごしますのでよ
ろしくお願いします。

トッキッシュ（前書き）

これは悪魔でも作者の妄想にすきません。

テッキレシピ

小鳥のテッキレシピ

F V

ハイドッグ

グレード1

シルバー・ウルフ4

ソニッケバー・ド3

ガーディアン・コング3

? ? ? 3

グレード2

パンダ4

? ? ? 3

ガーディングピーグ2

? ? ? 3

グレード3

ちびもす4

モンキールー2

? ? ? 2

トリガ-

ジャンピングタイガ-醒4

エレファント・アンカ-4

プレゼント・トコアラ引4

ヒーリング・ロコン・治4

瑚太朗のテッキレシピ

F V

Aドーン

グレード1

Aデイライト4

バリイ 4
ゴジョー 1
エルモ 1
グレード 2
Aダスク 2
ネハーレン 4
ラーヴァアーム 1
バーサーク 3
ぐれーど 3
イクリップス 2
オーバーロード 4
デュアルアクス 2
グレード 0
コンロー
トリガー
ガトリングクローラー 4
ターフ
ドラゴキッド 4
ゲンジョウ 4

ナックリレシピ（後書き）

？？？は小鳥ルートの話で出てきます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2568z/>

Rewriteの世界でヴァンガード

2011年12月13日19時56分発行